



(第 88 図)

(56) 高山線線路平面図 (第 88 図)

年代 昭和 9 年 10 月 25 日発行『高山線建設要覧』添付図
 発行所 鐵道省岐阜建設事務所
 寸法 添付図の寸法 22×59
 縮尺 20 万分の 1
 所蔵 高山市教育委員会

第 88 図は『高山線建設要覧』に折り込まれている、岐阜～高山間の線路平面図である。建設工事は、岐阜～高山が鐵道省岐阜建設事務所が施工して「高山線」といい、富山～高山は同省長岡建設事務所が施工して「飛越線」といった。

線路の平面図は 5 色刷りで、岐阜市から高山町までが赤色の実線で記され、トンネルは白色で記される。また、高山から北方の富山方面は飛越線として表記を変えている。

各駅には名所が掲載されている。「たかやま」には飛驒総社、櫻山八幡神社、高山公園、高山別院、高山陣屋跡、日枝神社が、「ひだいちのみや」には水無神社が、「くぐの」には乗鞍登山口、御岳登山口が記される。「ひだおさか」には高天ヶ原スキー場が記される。また、「かゞみがはら」には飛行第一聯隊、飛行第二聯隊、「なか」と「ながもり」の間には六八聯隊の名が見られる。

昭和 9 年、岐阜～富山間が全通すると、飛越線が高山線に編入され、「高山本線」となった。

建設要覧本文中の「一、沿革」には次のとおり記載されている。

「高山線は既設東海道岐阜驛（東京起點四〇八軒二三〇米）に發し岐阜縣大野郡高山町に至る鐵道にして大正六年第四十議會の協賛を得て翌七年度より敦賀建設事務所の所管に編入され同年四月岐阜各務ヶ原間の測量に着手せり。其後大正八年十一月鐵道省告示第一〇五號を以て岐阜建設事務所の設置に伴ひ當所の所管に移され、昭和四年四月全線の線路選定を了したり。

本線土工其他工事は十五ヶ工區に大別し大正八年五月岐阜方より起工し、昭和九年十月二十四日を以て軌道工事を竣功せしものにして測量着手以来茲に十有七ヶ年の星霜を経て全通を見るに至れり。」

高山線の工事は大正 8 年 5 月に岐阜から起工し、大正 12 年には上麻生、昭和 4 年には下呂、昭和 7 年には小坂からの工事にそれぞれ着工している。諸駅間の着手、竣工期日は次頁表 5 のとおりである（註 1）。

岐阜～高山間の高山線は大正 8 年（1919）5 月 21 日着工から昭和 9 年（1934）10 月 24 日の竣工ま

で15年5カ月の工事期間で開通している。

最も難工事であったのは上麻生から下呂の間で、地勢は険しく、各所に発電用水路や貯水池放水路が予定線路と交錯し工事は難関を極めた。また宮トンネルは延長2キロを余で高山線最長の隧道で、3カ年の工事期間を要した。作業人員はのべで177,500人、使用セメント袋は46,500袋を要した。宮トンネルの工事は、新施工方法の発見をもたらした工事でもあった。

註1 「『高山線建設要覧』 鐵道省岐阜建設事務所昭和9年発行」 11、12 頁より

表5 主要工事起工並竣功

工事名	着手	竣功	請負者
岐阜 各務ヶ原間土工其他新設工事	大正八年五月廿一日	大正九年七月廿四日	東海工業合資会社
各務ヶ原美濃太田間土工其他新設工事	同 九年二月十一日	同 十年六月十日	同上
美濃太田 上麻生間土工其他新設工事	同 十年五月一日	同 十一年十一月三日	佐藤助九郎
上麻生 白川口間土工其他新設工事	同 十二年五月廿七日	同 十四年九月廿六日	日本工業合資会社
白川口 下油井間土工其他新設工事	同 十四年八月一日	昭和二年四月廿六日	同上
下油井 金山間土工其他新設工事	同 十四年十二月十六日	同 二年九月十二日	同上
金山 焼石三 石間土工其他新設工事	同 十五年八月廿四日	同 三年六月廿三日	同上
焼石三 原間土工其他新設工事	昭和二年九月廿八日	同 五年六月十五日	同上
三原 下呂 呂間土工其他新設工事	同 三年四月十八日	同 五年四月廿七日	同上
下呂 萩原 原間土工其他新設工事	同 四年一月廿二日	同 五年九月廿一日	同上
萩原 小坂間土工其他新設工事	同 六年十月十五日	同 八年六月十四日	大林組
小坂 渚 間土工其他新設工事	同 七年四月十日	同 九年一月九日	同上
渚 久々野間土工其他新設工事	同 七年七月十日	同 九年一月九日	同上
久々野 宮 間土工其他新設工事	同 五年九月廿八日	同 九年六月十五日	省直営
宮 高 山間土工其他新設工事	同 七年十月十四日	同 九年一月十三日	大林組
岐阜 各務ヶ原間軌道敷設其他工事	大正九年四月十五日	大正九年十月卅一日	省直営
各務ヶ原美濃太田間軌道敷設其他工事	同 十年四月二日	同 十年十一月十一日	同上
美濃太田 下麻生間軌道敷設其他工事	同 十一年四月廿一日	同 十一年十二月廿四日	同上
下麻生 上麻生間軌道敷設其他工事	同 十二年一月十六日	同 十三年三月十九日	同上
上麻生 白川口間軌道敷設其他工事	同 十四年十月十日	同 十五年三月十五日	同上
白川口 下油井間軌道敷設其他工事	同 十五年十一月一日	昭和二年五月十一日	同上

工事名	着手	竣功	請負者
下油井飛騨金山間軌道敷設其他工事	昭和三年一月五日	同 三年三月廿日	同上
飛騨金山 焼石間軌道敷設其他工事	同 三年六月十六日	同 四年四月廿日	同上
焼石 下呂 呂間軌道敷設其他工事	同 五年四月十日	同 五年十一月十五日	同上
下呂 萩原 原間軌道敷設其他工事	同 五年十月一日	同 六年五月九日	同上
萩原 上呂 呂間軌道敷設其他工事	同 七年十二月廿二日	同 八年八月廿日	同上
上呂 小坂間軌道敷設其他工事	同 八年五月十四日	同 八年八月廿四日	渡邊定次郎
小坂 久々野間軌道敷設其他工事	同 八年十二月十七日	同 九年八月四日	同上
久々野 高山間軌道敷設其他工事	同 九年四月十三日	同 九年十月廿四日	同上

※高山～岐阜間 一三七・三九〇km
 軌間 一・〇六七m 最小半径 二五〇m 最急勾配 千分の二〇

※高山～岐阜間 137.390 km
 軌間 1.067m 最小半径 250m 最急勾配 1000 分の 20

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。